

多彩!教室で活躍するJET-ALT

取組の主体		取組の対象				地域の国際化			特色ある取組				
JET-ALT	任用団体	CIR等との連携	児童・生徒 未就学児 小学 中学 高校			教員	住民	異文化理解	地域活性化	多文化共生	長期休業中の取組	配置の工夫	デジタルツールの活用

No.13 特別支援学校における 外国語教育の充実等に資する取組

実施時期：令和4年～現在
任用団体名：神奈川県

取組のポイント

- 特別支援学校に在籍する児童・生徒一人ひとりが、自身の抱える障がい等にかかわらず、楽しみながら英語の学習に取り組めるようにしている。
- 学校とJET-ALTが連携して教材や授業づくりを行い、楽しく安全に広い世界のことについて学習できる環境を提供している。

任用団体の基本情報

人口：9,222,108人

※令和5年4月1日現在

JETプログラム参加者の人数：(ALT) 2人 (CIR) 0人 (SEA) 0人

学校数：中学校2校、高等学校137校、特別支援学校29校

取組の背景・課題

神奈川県立総合教育センターでは昭和62年からJET-ALTを任用している。本県では、特別支援学校に在籍する生徒が、実際に外国人と交流する機会を十分に確保できていないという課題があった。また、JET-ALTの人数が少ないため、その存在が十分に知られておらず、英語教育の人材としてうまく活用できていなかった。

そこで特別支援学校への派遣を行うとともに、ユニバーサルデザインに基づいた教材・授業づくりに着手した。

取組の内容

<特別支援学校への派遣>

- JET-ALTの派遣は、小学部から高等部まで幅広く、県内各地の支援学校計7校に37回にわたって派遣を行った。
- 授業では、児童・生徒と英語で会話することはもちろん、英語を用いたゲームやプレゼンテーションなど様々な学習活動に実際に参加するなどJET-ALTが積極的にコミュニケーションを図るよう努める。
- 海外の世界へと視野を広げられるよう、世界の各所を紹介するスライドなどを通じて、異文化交流の機会を積極的に提供している。
- 教員との調整や授業中のコミュニケーションに向けて、JET-ALT自ら日本語を学ぶなどして、言葉の壁を乗り越えている。

取組の成果・今後の展望

定量的な効果測定は行っていないため、客観的に成果を示すことはできないが、特別支援学校の児童・生徒たちからの“thank you cards”には、子どもたちがJET-ALTとの英語の授業を楽しんでいることが十分に伺える。

今後は、特別支援学校以外の学校でも、このような機会を増やすことができるよう広報の仕方を検討していきたい。



神奈川県立三ツ境養護学校高等部
3年生からの手紙



神奈川県立茅ヶ崎養護学校小学部
5年生からの手紙



神奈川県立緑養護学校からの
ウェルカムポスター

問合せ先

担当部署名：神奈川県立総合教育センター教育事業部
教育人材育成課キャリア推進班

TEL：0466-81-1635

URL：<https://www.pen-kanagawa.ed.jp/edu-ctr/>

